串間市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化に伴う豪雨や猛暑、また台風の大型化などの異常気象が増加しており、今後、災害等が頻発化・激甚化することが全世界規模で予想されます。串間市においても豪雨により河川が越水を起こし、大きな被害が発生しており、このような事態は「気候変動」ではなく「気候の異常事態」という状況であると考えております。

このような状況を踏まえ、災害から人々の生命・財産、まち、自然の生態系を守るため、２０１５年に合意されたパリ協定では「産業革命以前からの平均気温上昇の幅を２℃未満の１．５℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。そして、この目標達成のためには「２０５０年までにＣＯ２の実質排出量をゼロにする必要がある」とされております。

串間市は、ＳＤＧｓの理念を念頭に掲げ、雄大な自然を背景とする風力発電、木質バイオマス発電、太陽光発電、小水力発電などの再生可能エネルギー施設や地中熱を活用した施設の整備も進んでおり、これらを活かした循環型社会の形成が図られることにより持続可能性が高まっていくものと考えております。

将来の安全・安心な暮らしを守り、そして、災害に強く自然との共生ができるまちを目指し、２０５０年までにＣＯ２排出量実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ串間」の実現に向け、市民や事業者と一体になって取り組んでいくことをここに宣言します。

串間市